

自然科学書フェア サイエンスカフェ

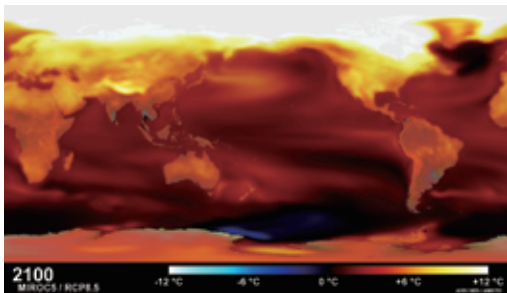
会場：三省堂書店池袋本店
書籍館4階イベントスペースReading Together

参加費：無料

【参加申込み方法】 お電話でのご予約
三省堂書店池袋本店（代表）03-6864-8900
*サイエンスカフェは気軽に科学の話をする参加型イベントです。

第1回 6月11日(土) 14:00～15:10

気候変動リスクと人類の選択 —地球温暖化で世界はどう変わるか—



昨年末にパリで開かれた地球温暖化対策の国際交渉 COP21 では、世界の温室効果ガス排出量をできるだけ速やかに減少に転じさせ、今世紀後半には実質ゼロにする、という壮大な目標が合意されました。気候変動の科学の現状についてお話したうえで、地球温暖化がもたらす世界の大きな変化に私たちはどう向き合ったらよいのかを考えます。

講師：江守正多
(国立環境研究所)

プロフィール：えもり・せいた：国立環境研究所地球環境研究センター温暖化リスク評価研究室室長。専門はコンピュータシミュレーションによる気候モデルの開発・改良や、地球温暖化予測の不確実性の定量的評価など。地球温暖化に関する一般向けの解説書を多数執筆しているほか、コメンテーターとしてテレビなどへの出演も多数。

主な著書：「異常気象と人類の選択」（角川書店）、「地球温暖化—そのメカニズムと不確実性」（共著、朝倉書店）、「地球温暖化はどれくらい「怖い」か？—温暖化リスクの全体像を探る」（技術評論社）、「地球温暖化の予測は「正しい」か？—不確かな未来に科学が挑む」（化学同人）など。

第2回 6月25日(土) 14:00～15:10

土砂災害と防災教育 —「生きる力」を身につける—



土砂災害は古くから全国各地で発生し、人々を苦しめてきました。最近では、熊本地震で大きく山が崩れた映像が記憶に新しいと思います。私たちの先祖は、二度と同じ被害を繰り返さないことを願って、文書、写真、石碑等で後世のために多くの記録を残してきました。最近、このような過去の災害を教訓とした「防災教育」が積極的に行われるようになりました。過去の災害記録、そして私たちの命を守る方法について、一緒に考えたいと思います。

講師：今村隆正
(株)防災地理調査)

プロフィール：いまむら・たかまさ：株式会社防災地理調査 代表取締役。専門は歴史災害・防災。全国各地の歴史時代に発生した大規模災害を調査研究し、学会などで研究発表をするに留まらず、防災講演を通して広く一般へ伝える。モットーは「防災は災害を知ることから」。

主な著書：「土砂災害と防災教育—命を守る判断・行動・備え」（共編、朝倉書店）、「日本被害地震総覧 599-2012」（共著、東京大学出版会）、「想定外を生まない防災科学」（共著、古今書院）。